

市議会だより おおだ

No. 68

2022(令和4)年7月21日発行

表紙の写真
富山町の風景(亀谷優子副委員長撮影)
～湖田から望む要書山～

📍 6月定例会	2
📍 一般質問に11人	5
📍 インタビューコーナー ～総務教育委員会編～	11

6月定例市議会は、令和4年6月6日(月)～21日(火)までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



(一般会計総額) 238億1,607万円



JR大田市駅前の旧大型店舗跡地

中心市街地まちづくり助成事業 7,000万円

中心市街地活性化のため、民間主体で取り組む事業実施に向けて行う旧大型店舗の解体に対する支援



消防団防火衣

コミュニティ助成事業 190万円

コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)の採択により、消防団防火装備及び幼年消防クラブ活動備品、防災資機材の整備

特別委員会の設置

●行革・公共施設調査
検討特別委員会(9名)

◆設置の目的

行財政改革、自治体DXの推進及び新庁舎建設を含む公共施設適正化に関する調査検討、並びに意見具申。

- | | |
|--------|-------|
| 清水 勝 | 河村 賢治 |
| 松村 信之 | 小川 和也 |
| 胡摩田 弘孝 | 亀谷 優子 |
| 和田章 一郎 | 清水 好 |
| 柿田 賢次 | |

議員提出議案

【全会一致、原案可決】

▼地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について
大田市議会は、国に対し、2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、

コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう求める意見書を提出した。

▼ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議声明について【決議】

平和と人権の尊重を旨とするユネスコ憲章の下での世界遺産・石見銀山遺跡を抱える大田市として、ロシア軍によるウクライナ侵攻に強く抗議すると共に、直ちに停戦することによって市民への殺傷や市街地の破壊行為をやめ、国際法に基づく速やかで無条件の撤退により、ウクライナに平和を取り戻すことを強く求める抗議声明を決議した。

6月定例市議会

令和4年6月6日(月)

～6月21日(火)

一般会計
補正予算
(第2～3号合計)

補正額 3億4,895万円

主な補正内容



子育て世帯生活支援特別給付金
給付事業 **4,900万円**

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、児童1人あたり5万円を給付



スマートシティ推進事業
2,570万円

キャッシュレス・ポイント還元事業(第3弾)の実施により、コロナ禍における市内事業者の経済活動支援や消費喚起を行うとともに、市内のキャッシュレス化を推進

その他の補正	補正額
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 (住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(1世帯あたり10万円)について支給対象を拡充し、支援措置の強化を図る)	5,686万円
大田市関係人口拡大事業 (来訪者による大田市の情報発信を促進する事業)	1,240万円
情報教育推進事業 (小中学校における電子黒板等の整備[小学校1、2年、中学校1年学級用42台])	2,071万円
観光地受入環境整備事業 (観光施設トイレ改修、町並み保存地区内サイン整備等)	1,857万円
新型コロナウイルス感染症対策事業 (放課後児童クラブ等16施設ほか保育施設等に対し、感染防止対策を実施するための消耗品・備品購入費等を補助)	2,059万円

◇6月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	議員名等																			
			賛成	反対	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太
■市長提出議案																						
議案第7号 専決処分（大田市税条例の一部を改正する条例制定）の承認について		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 専決処分（大田市都市計画税条例の一部を改正する条例制定）の承認について		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 令和4年度大田市一般会計補正予算（第2号）		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 令和4年度大田市一般会計補正予算（第3号）		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 令和4年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 令和4年度大田市病院事業会計補正予算（第1号）		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号 大田市一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 大田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 大田市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 大田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 大田市附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号 令和4年度大田市駅前周辺東側土地区画整理事業大正西線東側工事請負契約の締結について		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号 令和4年度大田市駅前周辺東側土地区画整理事業大正西一南側工事請負契約の締結について		可決	15:2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号 令和4年度消防通信指令システム更新整備工事請負契約の締結について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																						
意第1号 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号 特別委員会の設置について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議声明について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※定数18名、うち議長（小林 太）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

全員協議会の議題

6月21日

「第2次大田市総合計画・後期計画」の策定について

6月6日

「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」について
 ・中心市街地まちづくり助成事業について
 ・大田市文化財保存活用地域計画について

議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます






いっぱん質問

市政に対する一般質問は、6月9日、10日に行われ、11人の議員が執行部の考えをたどしました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<https://www.city.oda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲6月11日 カキツバタの保全活動と水辺自然観察(山口町)〈山村留学人づくりの里運営協議会主催〉

子どもの権利と尊厳を守る社会の実現

児童生徒一人一人が
かけがえのない存在

いしだ ようじ 議員
石田 洋治



質問

コロナ禍で厳しい経済状況にあるひとり親世帯をはじめ、低所得の子育て世帯の支援や子どもの貧困、児童虐待などの社会問題を解決することも、子どもの権利と尊厳を守らなくてはならない。また、近年スポーツの現場においても体罰や不適切な指導が問題視されている。熱中症等の事故事例も多発しており、市内小中学校及びスポーツ少年団における指導者向け講習会が重要と考えるが所見を伺う。

答弁

第2次大田市総合計画に基き、おおだ健やかプランや第2期子ども子育て支援事業計画を策定、子どもの視点に立った施策、権利を守る取り組みを総合的に行っていく。

る。また、いじめによって児童生徒の教育を受ける権利が侵害されないよう、大田市いじめ防止基本方針を策定し、特にいじめの未然防止と早期発見に重点を置いた取り組みを進めている。子どもの貧困については、幼児教育・保育園の無償化の推進、保育園等の確保、食育の推進、ひとり親家庭への就労支援、母子父子自立支援員を配置し、また学習支援などにも取り組んでいる。

体罰、不適切な指導防止については、毎年11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、小・中学校教員、保育士などを含めた市民研修の開催や、保護者向けのチラシを配布し、啓発活動を行っている。

部活・スポ少指導者においては、市外から経験豊富な指導者を招き、講習会やスポーツ指導者育成講座等を開催している。今後も講座や講習会を定期的に開催していく。

「部活動」 現状の課題と 今後の方向性は

休日の部活動 地域移行を検討

ねぎ 根宜 議員
かずゆき 和之 議員



職員数の減少により、一部活動当たりの担当者数も減らざるを得なくなっており、職員負担は増加傾向にある。

「休日部活動の地域移行」については、現段階で市としての考え方や方針等、示せるものは無いが、地域移行は目前に迫っており、今後、国や県の動向を注視し、適切に対応する。また、想定される課題として、指導者の確保、受け皿、活動場所や組織運営等の財源、保護者負担等の問題があり、これらを解決しなければ生徒及び関係者の混乱を招くのではないかと危惧している。

一番は生徒たちの健全な成長にあり、このことを基本に据え、多面的、中長期的な視点を持って、今後関係者と議論を深めたい。

根宜議員その他の質問項目
・ 飼料価格の高騰への支援について



▲部活動に取り組む生徒

質問 中学校の部活動は、少子化の影響により生徒の希望する部活動がないことや、教員の長時間労働の要因の一つなどの課題を抱えている。

国は、持続可能な部活動と教員の負担軽減を実現できる改革として「休日の部活動の地域移行」を進めようとしているが、大田市としての考えや、近隣市内での地域移行についての現状、課題などを伺う。

答弁 中学校における部活動については、様々な教育的効果が期待される一方、生徒数減少に伴う部活動数の減少や長時間労働への影響等が課題である。令和3年度、教職員ひと月の平均時間外勤務は約50時間、全体的には時間外勤務は減っているが

大規模地震など 災害時における 非常用トイレの対応は

健康・衛生上、重要な課題 年次計画で整備

もりやま 森山 議員
こうた 幸太 議員



質問 地震などの災害時には、停電をはじめ、給水・汚水管や処理施設などが損傷を受け、水洗トイレは使用できなくなる。

災害時のトイレの確保は命を守ることであり同時に、人としての尊厳を守ることでもあり、非常に重要なことである。いつ起こるか分からない災害時に備えて非常用トイレの備蓄、並びに実践的な訓練を行うべきと考えますが、所見を伺う。

答弁 災害時のトイレ問題は、健康管理、衛生対策上重要な課題であり、平時より備える必要がある。併せて、自主防災会の勉強会やリーダー研修会などを通じて引き続き普及啓発していく。

市では地震時の避難者を、発災から

3日間で最大4千人とし、仮設トイレは80基程度必要と想定している。防災計画では、事業者との災害協定により、仮設トイレのリース、収集処理、人員確保などができるよう計画しているが、孤立する地域では、簡易トイレなどの市の備蓄に加え、地域の防災組織や各世帯での自主的な対応での協力を考えている。市の備蓄については、非常用のボックス型トイレや簡易トイレなどを、今後とも年次計画で整備していく。

また、実践的な訓練は今後、昨年度オープンした道の駅に整備した非常用のマンホールトイレ(3基)を活用した設置訓練などを計画している。



▶道の駅いせ仁摩に整備されたマンホールトイレ

森山議員その他の質問項目
・ 観光地のトイレ整備について

公共施設 計画的維持管理を

公共施設適正化計画に基づき
取り組む

かめたに 亀谷 優子 議員



部署または指定管理者等により適正に行っているが、計画的な修理や改修を行う予防保全には至っていない。

②平成28年3月に公共施設総合管理計画、平成30年3月に公共施設適正化計画を策定した。各施設の方針決定を早期に行うとともに、計画的な予防保全を行うための体制や仕組みづくりの検討や実施をすることで、適正な維持管理を行うよう取り組む。

質問 市役所本庁舎をはじめ、公共施設は市民の財産である。少しでも長く使えるよう、老朽化への対応や耐震化など、建物の適切な修繕・改修が求められる。①これまでの公共施設の維持・管理をどのように行ってきたか、②壊れたところから修繕する事後保全型ではなく、計画的維持管理を行うべきではないか。③現在の市役所本庁舎を耐震改修工事した場合の概要について伺う。

答弁 ①大田市の公共施設は約400施設、面積にすると延べ約26万平方メートルもあり、そのうち半数の217施設が築30年を経過している。各施設における保守点検業務を含めた日常の維持管理は各担当

③現在の市役所本庁舎は、建物の耐震性能が低く、震度6以上の大地震が発生した場合、建物が倒壊する危険性が高いと判断されている。耐震改修工事を行う場合、ハイブリッド工法を用いて試算すると、概算で耐震改修工事が約18億円、設備機器更新工事が約5億円、合計約23億円が見込まれるが、長寿命化対策工事は含まれていないため、建物の耐用年数を考慮すると、新設するほうが合理的であると考ええる。

・学校給食について
亀谷議員その他の質問項目

「小さな拠点づくり」の 成果と今後の施策は

地域に暮らす人が主人公、
その要望に支援を行う

しみず 清水 まさる 議員



どこに意見を出し合い、共有し、一体となつて活動していただくことが、持続可能なまちづくりと考えている。市としては、まちづくりセンターを一つの地域として、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために必要な生活機能の確保、生活交通の確保、地域産業の振興、定住対策の促進の4つの柱で、様々な支援を行ってきたい。

質問 き、全国市町村の7割が転出超過で過疎・高齢化は一段と進行している。過疎法適用の当市でも平成の大合併後、一万人超えの人口減で、65歳以上は41%と中山間地の高齢化と無人家屋は著しく、危機的・限界集落は急増し250集落に及んでおり、持続可能な地域づくりがらう。

今日まで日常生活に必要な機能を中心地に集約する「小さな拠点づくり」を目指されていたが、その成果を尋ねるとともに危機的・限界集落で住み続けられる施策を伺う。

答弁 地域に暮らす人が地域課題やその解決方法、取り組みな

「小さな拠点づくり」では、市内27地域のうち、地域運営組織が7地域で設立された。生活交通の確保に運行事業者として3地区、タクシー利用者の補助として移動支援に3地区が取り組んでいる。その他にも観光資源や地元産材を用いた加工品など、それぞれの地域資源を活用した産業振興に取り組みされている。



大田市の空き家対策は

中心市街地の活性化に向け
空き不動産の利用促進を図る

かきだ けんじ 議員
柿田 賢次



また、道路の安全な通行等に影響を及ぼすと想定される場合は、道路管理者や学校などの関係機関に連絡し、安全対策をお願いしている。

大田市中心市街地活性化長期計画における空き家・空き店舗の所有者等の把握については、令和元年度に駅通り周辺の外観を目視により確認し、空き店舗の状況把握を行ったが、所有者等の詳細な情報までは確認していない。今年度、中心市街地の活性化に向け、まずは現状を把握すべく区域内の空き不動産調査を実施し、利用促進を図りたい。

質問

平成26年に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が公布され、大田市のこれに基づき令和元年から8年間大田市空き家等対策計画が策定された。大田市の年々空き家が増えている状況であり、今後も人口減少に伴い増加傾向が予想され、特に危険家屋についてどのように対応しているのか。また、大田市中心市街地活性化計画の区域内の空き家・空き店舗の対応を伺う。

答弁

現在の対策としては、市民から連絡があった空き家について、現地で不良度と周辺住環境に及ぼす危険度について調査を行い、不良度が高い空き家については所有者等へ文書にて適正管理をお願いしている。



柿田議員その他の質問項目

・ 持続可能なまちづくりについて

都市計画税の不公平な課税の是正について

当面は現状のまま
将来は税制見直しが必要

いとう やすひろ 議員
伊藤 康浩



当市での課税は、昭和32年より導入され、昭和48年の区域改正で大田、長久、久手の用途地域及び臨港区域が課税区域とされており、市町合併以降も引き継がれた。

その後の平成26年に、土地利用形態の対応のため、長久、久手及び久手臨港地区の一部で用途地域の拡大が図られたが、追加した地域については、将来的住民負担の軽減を見据え、課税しないことと決定した経緯がある。

課税区域でのこれまでの事業の取り組みは、街路、駅西側区画整理、公園整備事業などを実施してきており、今後、当面は大田・久手の下水道事業をはじめ、駅東側土地区画整理事業の財源に充当していく予定である。

これらの事業が一段落する状況になれば、何らかの見直しをする必要があるものと考えているので、将来的な都市計画関連事業のスケジュール及び財政見通しを踏まえながら、今後の都市計画税の方向性を検討したい。

質問

現在、大田市では、国道9号線を中心とした市内広範囲が都市計画区域として指定されている。しかしながら、都市計画税が賦課徴収されている地域は、大田町、久手町、長久町の一部の範囲であり、著しく公平性に欠ける制度になっているのが現状である。

答弁

都市計画税は、都市計画事業、又は土地区画整理事業の費用に充てるため、都市計画区域内の土地、及び家屋に課税する目的税である。

LED防犯灯への補助の復活を

現状で御理解いただきたい

みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員



自治会が設置するLED防犯灯の整備については、令和2年度までは新設、更新、破損に係る経費の一部を予算の範囲内で補助し、維持管理費は設置した自治会で負担をお願いをしていたが、令和3年度からはLED防犯灯の新規設置のみ補助対象としている。

新規、更新のいずれについても補助対象にということであるが、維持管理費などが増大している状況であり、現状で御理解をいただきたい。



▲通学路や生活道路に必要な防犯灯

質問 自治会が管理している防犯灯について、蛍光灯が破損しLEDへ取り替える際、今まで設置費用への補助があったが、令和3年度に廃止された。LEDは時代の流れであり、市は、地球温暖化対策実施計画を推進する立場であり、困っている自治会に手を差し伸べるのが求められる。補助制度の復活と予算の増額について伺う。

答弁 防犯灯は通学路や生活道路確保、犯罪被害の未然防止を目的としており、大変重要な役割を果たしている。大田市では、平成21年度から補助制度を始めたところであるが、現在は維持管理費が増大しており、自治会、また市にとっても大きな負担となつて

宮脇議員その他の質問項目
・ 学校施設の整備について

今後の「まちづくり事業」の進め方は

市民との話し合いを行い、地域にあったまちづくりを進める

こま だひろたか
胡摩田弘孝 議員



「まちづくり」として、その展開方法について示している。今年度に予定している第2次大田市総合計画（後期計画）の策定に当たり、市民との話し合いを行いながら、引き続きそれぞれの地域に合ったまちづくりを進めることで、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、持続可能なまちづくりを推進していきたいと考えている。

質問 人口減少・少子高齢化、過疎化に追い打ちをかけるコロナ禍で、まちづくりの課題はますます多様化しており、これらに効果的に対応するためには地域力を生かした総合的な取り組みを図ることが今後、一層重要になると思われるが、市の今後のまちづくりの方向性を伺う。

答弁 人口減少や高齢化が進む地域において、いかにしてまちづくりに関する機運醸成を図っていくか、地域活動を地域一体とすることで進めていくのか、大きな課題として受け止めている。

第2次大田市総合計画の基本計画においても、「持続可能なまちづくり」協働・共創により、持続可能なま



▲地域ぐるみで歩道の草刈作業

「旧大代小学校の活用」 その方向性は

市有財産の有効な利活用について今後検討を開始する

しみず 清水 好 議員



等、校舎、体育館合わせて約91万円となっている。
②校舎については遺跡調査による出土品や寄贈された民具の一時保管場所として、また選挙の投票所として使用しており、体育館やグラウンドは、地域で利用している。

③今後の活用について具体的な方法が見いだせていないため、市有財産処分利活用検討委員会において、学校目的以外の行政目的で利用する可能性について検討・確認し、次に、地域住民、市内公共的団体、その他市内企業や法人が地域振興のために活用する可能性がないかを検討。これらの活用が見いだせなければ、最終的には広く一般公募する。

等、校舎、体育館合わせて約91万円となっている。
②校舎については遺跡調査による出土品や寄贈された民具の一時保管場所として、また選挙の投票所として使用しており、体育館やグラウンドは、地域で利用している。



▲旧大代小学校

質問

旧大代小学校は自然と共
に体育館、グラウンドなども
充実している。しかし、校舎が長年
放置されており、このままでは建物
が傷んでいくばかりである。また山
間部にあり、企業の進出などは大変
難しいと思われるが、官民一体と
なつて探す必要があると考える。以
下3点について伺う。

- ①いつから使われていないのか、また、年間の維持費はいくらか。
- ②今まで使われた事はあったのか。
- ③今後の活用方法について。

答弁

①旧大代小学校は、現在の高
山小学校に統合した平成24年
4月から、学校としては使用されてい
ない。年間の維持費は、光熱水費、電気
設備点検、汚水処理施設管理の委託料

夕市の復活へ大田市が 積極的に取り組むべき

夕市の復活はJFしまねの
経営・運営方針の問題

わだ しまね 和田章一郎 議員



いる。

また、大田市に対し、令和2年6月26日に関係者の方々から署名を添えた陳情を受け、大田市として令和2年7月20日、JFしまねの監督官庁である島根県に対し、可能であれば夕市が継続となるよう要請をした。

引き続き関係者と共到大あなご等もPRしたいと考えているが、夕市の復活についてはJFしまねの経営・運営方針の問題であり、市として関与できる立場ではないということとは御理解をいただきたい。

質問

事務局を商工会議所にお
いた官民協働の推進協議会
が発足し、1千万円以上の公金の
投入と約10年かけた努力が積み重
ねられ、最後は総理大臣官邸で表彰
まで受けた大田市にとっては稀有
なブランド化達成の成功例が、夕市
セットの「一日漁」である。大田市
の宝の一つである夕方の競りの復
活に、他人事と決め込むのではな
く、積極的、主体的に取り組むべき
と考える。

答弁

夕市については、令和2年9
月1日より朝市に一本化され
ている。これは平成25年からの検討事
項で、JFしまねは様々な機関会議を
経て、令和2年6月の理事会、通常総
代会において決定されたものと聞いて



▲大田市の「一日漁」をPR

和田議員その他の質問項目

・市庁舎建設について



インタビュー!!

インタビューコーナー ～総務教育委員会編～



質問!

議員を目指した理由と
4年後の大田市の未来像は何ですか?

4月から新体制がスタートしました。議員全員が熱い想いを胸に市議会議員を志し、市民の皆さまとともに大田市の発展に向けて、取り組んでいきたいと考えています。そこで、議員を目指した理由と、大田市の未来像について聞いてみました！第1回目は総務教育委員会です。

伊藤康浩副委員長 (大田町出身)

大田市役所に在職中、多くの皆さんから「大田を変えたい、変わって欲しい」と聞き、自分なら皆さんが少し笑顔になれる大田市を作るお手伝いができるのではないかと思います。大田市議会議員を目指しました。4年後の大田市は「最近少し大田市良くなってきたよね」と市民の皆さんが口にしてくれる街になっていると思います。

伊藤康浩

河村賢治委員 (温泉津町出身)

補欠選挙により既に町議をしていました。市議会議員に出るときは落選も仕方ないと思い立候補しました。当選したら、大田市議として付託される事案に取り組むとともに、地域を良くするために活動する決意を持っていました。4年後の大田市の未来像は、それぞれ地域の人口減少にブレーキがかかると嬉しい。地場産業に就職してもらえる若者が増えてほしい。

胡摩田弘孝委員長 (久利町出身)

長年お世話になった地域に恩返しするつもりで議員になり8年目、あだ名は「まぐろ」で、常に動いていないと死んでしまいます。将来のことは分かりませんが、常に周りを見ながら、将来を見据えた判断をするには、常に市民の声に耳を傾け、智恵や汗をかく努力を惜しんではいけないと思います。

小林 太

和田章一郎

石橋秀利委員 (仁摩町出身)

大田市が自立した経営をするためには、自立の仕組みづくりや、人づくり、地域づくりが必要となり、民間経営管理手法等を導入して、行政改革、職員の意識改革に取り組んでいく考えです。子ども達が希望に燃えて、みんなが明るい市民生活ができる魅力あるまち大田。

河村賢治

胡摩田弘孝

小林 太委員 (温泉津町出身)

議員を目指した理由は、街づくりと産業振興に関心があり、併せて故郷の魅力に気付き自分出来る事は何か、と考えたから。4年後の大田市は交通インフラが整いコロナも乗り越え、魅力が全国に発信され多くの人訪れる場所となっている。交流人口が現在より何倍も増えている。

石橋秀利

和田章一郎委員 (久手町出身)

県議の経験を活かして市議会の活性化をはかり、市政の前進に寄与せよ、という市民の後押しを受けて決意しました。これまでの6年間は新たな修行の場と心得、全身全霊を込めて二元代表制の一翼を担う覚悟です。4年後の大田市は、女性が今より半歩でも前へ出て、また輝けるような社会に近づいていることです。そうなれば自然と大田市の未来が拓けると確信します。



永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び中国市議会議長会より、8名の議員と、3名の前議員が永年の地方自治に貢献した功績により表彰されました。

6月定例会の初日に本会議場において、議長より表彰状及び記念品の伝達を行いました。



全国市議会議長会表彰

- 月森和弘 (議員20年以上特別表彰)
- 大西 修 (議員20年以上特別表彰)

中国市議会議長会表彰

- 清水 勝 (議員36年以上特別表彰)
- 石橋秀利 (議員32年以上特別表彰)
- 月森和弘 (議員20年以上特別表彰)
- 大西 修 (議員20年以上特別表彰)
- 林 茂樹 (議員20年以上特別表彰)
- 小林 太 (議員16年以上特別表彰)
- 松村信之 (議員16年以上特別表彰)
- 小川和也 (議員12年以上特別表彰)
- 森山明弘 (議員8年以上普通表彰)
- 胡摩田弘孝 (議員8年以上普通表彰)
- 森山幸太 (議員8年以上普通表彰)

5/23

6/30

7/6

大田市重点要望(議長)

(5/23島根県庁、6/30松江国道事務所、7/6浜田河川国道事務所、中国地方整備局)



5/25

全国市議会議長会 第98回定期総会(議長)



6/20

可燃ごみ共同処理施設竣工式 (正副議長、民生委員会委員長)



編集後記

議会だよりの表紙は富山町の写真です。撮影した日はとても天気が良く、心まで晴れやかな気持ちになりました。その一方で、ロシアとウクライナの戦争が始まって数か月が経過しています。戦争が始まってしまえばこの豊かな田園風景もあつという間に失われてしまつのだと、その恐ろしさを強く感じます。一日も早い終結を願うばかりです。

新型コロナウイルスの感染者数は増減を繰り返しながら推移しています。6月議会ではコロナ対策の予算も含まれていますが、まだまだ長期的な対策が必要です。引き続き、コロナ終息に向け、予防対策にしっかりと取り組みましょつ。(亀谷優子)

広報広聴委員

- 委員長 塩谷 裕志
- 副委員長 亀谷 優子
- 委員 石田 洋治
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 宮脇 康郎
- 委員 柿田 賢次
- 委員 伊藤 康浩

坂根印刷